

東

平成26年3月期 第1四半期決算短信[日本基準](連結)

平成25年8月8日

上場取引所

上場会社名 株式会社 帝国電機製作所

URL http://www.teikokudenki.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 宮地 國雄 問合せ先責任者(役職名)取締役総務本部長 (氏名) 中村 嘉治

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日

コード番号 6333

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無 : 無 TEL 0791-75-4160

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業和	刂益	経常和	刂益	四半期紅	帕利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,844	△13.1	186	△55.4	448	27.7	242	73.2
25年3月期第1四半期	4,423	2.6	417	△32.5	351	△43.5	140	△52.3

(注)包括利益 26年3月期第1四半期 605百万円 (105.6%) 25年3月期第1四半期 294百万円 (△23.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	26.70	_
25年3月期第1四半期	15.41	_

(2) 連結財政状態

(=) (C-1 1/1 1				
	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	22,956	16,284	70.9	1,790.72
25年3月期	22,548	15,787	70.0	1,736.12

(参考) 自己資本

26年3月期第1四半期 16,284百万円

25年3月期 15.787百万円

2 型出の仕泊

2. 癿当切状况							
	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円 銭	円銭	円 銭	円銭	円銭		
25年3月期	_	12.00		12.00	24.00		
26年3月期	_						
26年3月期(予想)		12.00		12.00	24.00		

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日~平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	引益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,877	△2.8	852	△16.5	881	△6.9	498	△14.9	54.81
通期	18,867	△5.3	2,063	△4.2	2,120	△20.0	1,391	△23.5	153.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 無 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	9,450,069 株	25年3月期	9,450,069 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	356,281 株	25年3月期	356,224 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	9,093,807 株	25年3月期1Q	9,093,885 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引 法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1)四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
	_

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による景気浮揚策への期待感を背景に、円安の進行と株価の上昇等一部に景気持ち直しの兆しはあるものの、欧州や新興国を中心とした海外経済の減速懸念等により先行き不透明な状況が続いており、設備投資についても、緩やかな持ち直しの動きはあるものの、いまだ力強さに欠ける状況となっております。

このような状況の中で、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、主力のポンプ事業において、国内の設備投資は依然として厳しく本格回復に至っておりません。また、海外市場についても欧州経済の停滞や新興国の景気減速等により設備投資に落ち込みが見られたこと及び昨年度まで旺盛であった太陽光発電向けポンプ売上の剥落等から、国内外ともに売上は低調に推移しました。一方、電子部品事業においては、自動車業界全体としては、国内ではエコカー補助金制度の終了による影響があったものの、海外向けでは北米やアセアン地域などで売上が伸び、全体として回復基調となっておりますが、当社グループにおきましては、受託先企業からの仕事量の一部が海外移転したこと等により自動車用電装品の電子機器ユニットの需要が減少したため、売上は低調に推移しました。これらの結果、グループ全体として売上高は38億44百万円(前年同期比13.1%減)となりました。

利益面につきましては、売上の減少及び粗利率の悪化等により、営業利益は1億86百万円(同55.4%減)、円安による為替差益の発生等により経常利益は4億48百万円(同27.7%増)、四半期純利益は2億42百万円(同73.2%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ポンプ事業

ポンプ事業は、ケミカル用モータポンプ、ケミカル以外用モータポンプともに主に国内向けで販売が減少しました。内訳は、ケミカル用モータポンプにおいては、主力のケミカル機器モータポンプが主に国内向けで、冷凍・空調機器モータポンプが主に海外向けで、それぞれ減少しました。また、ケミカル以外用モータポンプにおいては、半導体機器モータポンプが主に海外で減少し、定量注入機器ポンプが主に国内で減少しました。

その結果、売上高は31億58百万円(前年同期比15.2%減)、連結売上高に占める割合は82.2%となりました。また、営業利益は、売上の減少、粗利率の悪化並びに販売費及び一般管理費が増加した結果、1億67百万円(同57.6%減)となりました。

② 電子部品事業

電子部品事業は、自動車業界全体としては、国内ではエコカー補助金制度の終了による影響があったものの、海外向けでは北米やアセアン地域などで売上が伸び、全体として回復基調となっておりますが、当社グループにおきましては、受託先企業からの仕事量の一部が海外移転したこと等により自動車用電装品の電子機器ユニットの需要が減少したため、売上高は5億97百万円(前年同期比3.7%減)、連結売上高に占める割合は15.5%となりました。

また、営業利益は、売上の減少並びに粗利率の悪化等により、12百万円(同39.9%減)となりました。

③ その他

その他事業は、昇降機等の特殊機器の売上が増加したことから、売上高は88百万円(前年同期比13.4%増)、連結売上高に占める割合は2.3%となりました。

また、営業利益は、売上の増加並びに販売費及び一般管理費の減少等により、6百万円(同356.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は151億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億57百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が11億円増加したことによるものであります。固定資産は78億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億50百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が99百万円、投資その他の資産が91百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、229億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億7百万円増加いたしました。 (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は52億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円減少いたしました。固定負債は14億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円減少いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が64百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、66億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円減少いたしました。 (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は162億84百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億96百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が1億33百万円、為替換算調整勘定が2億66百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は70.9%(前連結会計年度末は70.0%)となりました。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 平成25年5月10日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計 適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示該当事項はありません。

(単位:千円) 前連結会計年度 当第1四半期連結会計期間

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4, 058, 052	5, 158, 465
受取手形及び売掛金	6, 880, 796	5, 350, 576
製品	932, 901	1, 244, 520
仕掛品	1, 737, 417	1, 890, 135
原材料及び貯蔵品	999, 548	992, 881
その他	595, 611	735, 832
貸倒引当金	△223, 682	△234, 383
流動資産合計	14, 980, 645	15, 138, 027
固定資産		
有形固定資產		
建物及び構築物(純額)	2, 539, 285	2, 557, 639
その他(純額)	3, 185, 084	3, 266, 531
有形固定資産	5, 724, 369	5, 824, 170
無形固定資産	469, 396	528, 323
投資その他の資産	1, 373, 842	1, 465, 729
固定資産合計	7, 567, 608	7, 818, 224
資産合計	22, 548, 253	22, 956, 252
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1, 962, 582	2, 159, 974
短期借入金	680, 857	715, 285
未払法人税等	589, 448	352, 644
製品保証引当金	44, 253	44, 360
賞与引当金	427, 125	218, 457
役員賞与引当金	31,000	4, 800
その他	1, 495, 468	1, 723, 935
流動負債合計	5, 230, 736	5, 219, 459
固定負債	-	
退職給付引当金	848, 037	853, 485
役員退職慰労引当金	130, 771	66, 246
その他	550, 725	532, 644
固定負債合計	1, 529, 533	1, 452, 376
負債合計	6, 760, 270	6, 671, 835
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 116, 823	2, 116, 823
資本剰余金	1, 904, 614	1, 904, 614
利益剰余金	12, 284, 574	12, 418, 235
自己株式	△543, 456	△543, 565
株主資本合計	15, 762, 555	15, 896, 107
その他の包括利益累計額	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
その他有価証券評価差額金	179, 753	276, 307
為替換算調整勘定	△154, 326	112, 001
その他の包括利益累計額合計	25, 427	388, 309
純資産合計	15, 787, 983	16, 284, 416
	22, 548, 253	22, 956, 252
負債純資産合計		22, 950, 252

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書) (第1四半期連結累計期間)

		(単位:千円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	4, 423, 670	3, 844, 409
売上原価	2, 827, 783	2, 483, 995
売上総利益	1, 595, 887	1, 360, 413
販売費及び一般管理費	1, 178, 309	1, 174, 087
営業利益	417, 577	186, 326
営業外収益		
受取利息	2, 131	1, 960
受取配当金	10, 627	10, 331
受取賃貸料 為替差益	4, 555	4, 730
る音を強 その他	23, 697	236, 819 20, 736
営業外収益合計	41, 011	274, 578
営業外費用	41, 011	211,010
支払利息	7, 176	8, 036
為替差損	91, 965	_
その他	8, 424	4, 738
営業外費用合計	107, 566	12, 775
経常利益	351, 022	448, 129
特別利益		
固定資産売却益	2	26, 461
特別利益合計	2	26, 461
特別損失		
固定資産除却損	135_	<u> </u>
特別損失合計	135	<u> </u>
税金等調整前四半期純利益	350, 889	474, 591
法人税等	210, 725	231, 805
少数株主損益調整前四半期純利益	140, 164	242, 786
四半期純利益	140, 164	242, 786

		(単位:千円)
	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益 その他の包括利益	140, 164	242, 786
その他有価証券評価差額金	△56, 368	96, 554
為替換算調整勘定	210, 790	266, 328
その他の包括利益合計	154, 422	362, 882
四半期包括利益	294, 586	605, 669
(内訳) 親会社株主に係る四半期包括利益 少数株主に係る四半期包括利益	294, 586	605, 669

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

		報告セグメント		その他合計		
	ポンプ事業	電子部品事業	計	(注)	口目	
売上高						
外部顧客への売上高	3, 724, 843	620, 907	4, 345, 750	77, 920	4, 423, 670	
セグメント間の内部売上高 又は振替高	_	_	_	_	_	
13-12-1	3, 724, 843	620, 907	4, 345, 750	77, 920	4, 423, 670	
セグメント利益	396, 118	20, 082	416, 200	1, 377	417, 577	

- (注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器、健康食品及び人材派 遣事業を含んでおります。
- 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	416, 200
「その他」の区分の利益	1, 377
四半期連結損益計算書の営業利益	417, 577

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

- Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	Λ ≑1
	ポンプ事業	電子部品事業	計	(注)	合計
売上高					
外部顧客への売上高	3, 158, 318	597, 743	3, 756, 062	88, 347	3, 844, 409
セグメント間の内部売上高 又は振替高	_	_	_	_	-
1111111	3, 158, 318	597, 743	3, 756, 062	88, 347	3, 844, 409
セグメント利益	167, 976	12, 059	180, 036	6, 290	186, 326

- (注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、特殊機器、健康食品及び人材派 遣事業を含んでおります。
- 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額	
報告セグメント計	180, 036	
「その他」の区分の利益	6, 290	
四半期連結損益計算書の営業利益	186, 326	

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報 該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

生產実績

当第1四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	前年同期比(%)
ポンプ事業 (千円)	3, 637, 392	△13. 5
電子部品事業 (千円)	597, 757	△3. 7
報告セグメント計(千円)	4, 235, 149	△12. 2
その他(千円)	119, 282	7.8
合計 (千円)	4, 354, 432	△11.8

- (注) 1. 金額は、販売価格によっております。
 - 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注状况

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同期比(%)	受注残高 (千円)	前年同期比(%)
ポンプ事業	3, 912, 306	△1. 2	5, 449, 969	△14.1
電子部品事業	601, 954	△5. 0	199, 711	△9. 3
報告セグメント計	4, 514, 260	△1.7	5, 649, 680	△14.0
その他	79, 507	△20. 6	131, 178	△42. 1
合計	4, 593, 768	△2. 1	5, 780, 858	△14.9

- (注) 1. 金額は、販売価格によっております。
 - 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	前年同期比(%)
ポンプ事業 (千円)	3, 158, 318	△15. 2
電子部品事業 (千円)	597, 743	△3.7
報告セグメント計 (千円)	3, 756, 062	△13. 6
その他(千円)	88, 347	13. 4
合計 (千円)	3, 844, 409	△13. 1

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。